

月別の死亡数 人口動態調査(2011年)

※3月11日東日本大震災の死者は1万8877人

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
12万1775	10万3008	※13万52	10万3701	10万1201	9万4571	9万4281	9万6080	9万2060	10万419	10万1395	11万4493



年々、小さくなっていく
老親の背中。あと何年、親
孝行のまね事ができるのだ
ろうかと思いつながら、故郷
への新幹線に飛び乗った人
も多いたろう。だが、その
来年がないとしたら……

親が死んだ

1月はなぜか死亡数が急増する

〈願わくは花の下にて春死
なん〉
大阪在住だった佐藤義晴
さんは、春の陽気の下で死
にたいという願望を歌に詠
んだ。そして、72歳の
時にその願
いはかなえ
られたとい
う。もった
も、この佐
藤さんは今の時代ではない。
800年前の平安時代が生
きた人で、出家して西行法
師を名乗った人だ。

多くの人も彼のように、
花に囲まれながら安らかに
死を迎えたいと思っている
が、これがなかなか難しい
ようだ。

月別の死亡者数(別表)
を見ると、例年、1月にな
げか死者が急増するのだ。
一昨年は、東日本大震災の
ため例外になるが、1月の
死亡数は12万1775人。

最少の9月より約3万人も
多く、月別平均に比べても
17%も増えている計算だ。
気温が下がる冬は、夏に
比べて心筋梗塞と脳卒中が
1.5〜2倍に増える。実
際、一昨年は1月に全国で
1万6892人が亡くな
り、月別で1月が最も多か
った。

一方、血圧が低い人の場
合は、不整脈などが出る場
合がある。
「家がにぎやかだった分、
憂鬱な気分は後から襲って
きます。子や孫を正月に迎
え入れるための年末の大掃
除の疲れも出てくる。だか
ら1月の半ば、成人の日の
連休にまた田舎に顔を見せ
るのです。もちろん、今度
はひとりでいい。雪かきを
手伝い、温泉にも連れて
行ってあげる。そうするだ
けで、老親の体と心はほっ
こりしてくるはずですよ」
(上原氏・前出)

もともと、金銭的には大
きな負担だ。そんな場合、上
原氏は「電話するだけでも
大きく通ってくる」と言っ
た。「こちらから電話をかける
のではなく、親の方からか
けさせると、さらに効果的
でしょう。魚の干物でも送
れば、「困いたぞ」と電話
が来ます。「相変わらず、
雪が降っているか?」と聞
けば、「東京も寒いだろ
う」と会話が続く。

「これほど役に立つかは分
からないが、できることは
何でもしてあげたい。」

つかない。1月に死にが偏
るのは、別の原因もありそ
うだ。

注意を要するごち一家と孫

全国介護
者支援協議
会理事長の
上原光氏
がこう言
う。
「正月は、
山盛りのご
ちそうを孫
と囲み、昔
話に花を咲
かせる老親の姿があった。
その孫たちが帰る、布団を
片付けると、ただでさえ広
い家が余計にたたくく感
じられる。そこに落とし穴
があるのです」

昨年、警察官のKさん
(48)は、帰省先の秋田の
田舎から東京の自宅に戻っ
た1週間後、70代後半の母
親が脳卒中で倒れ、危篤だ
という連絡が入った。その
3日後、母親はあつけない
運つたという。普段から血
圧は高めだったのが、帰省中
は気が張っていたせいもあ
り、台所仕事などもてきば
きこなし、あまり飲めな
いお酒も少しいたいたいて
たという。

防ぐには成人の日の連休がカギ